

## 平成26年度（公財）松山観光コンベンション協会事業計画

松山観光コンベンション協会は、平成24年度から公益財団法人として新たな一歩を踏み出しており、公益財団法人としての使命と社会的責任を自覚し、高い公益性を発揮しながら、今まで以上に、まちの魅力である「光」を発信し、観光・物産・コンベンションの振興を図り、松山市・愛媛県の経済活性化に資することが求められる。

観光・物産振興事業としては、4月に道後温泉本館改築120周年の節目を迎え、アートフェスティバル「道後オンセナート2014」が開催されることからこれを機に、松山・道後の魅力を最大限にアピールしていくとともに、併せて瀬戸内海国立公園指定80周年イベント「瀬戸内しまのわ2014」、「四国八十八ヶ所霊場開創1200年」が開催されることから、これらに関係する団体と連携を図りながら、県内外に対して最新の観光情報発信を展開していく。また、観光ボランティアガイドによるソフト面のサービスを強化することで、観光客の受け入れ体制の充実を図る。また、5回目を迎える松山神輿を基軸とした「大神輿総練」がさらに発展するように開催協力を継続していきながら、新たな観光資源の発掘およびPRに努める。

物産面については、既存の物産展開催地も含め、集客力の高い新たな開催地を検討し、国内外の話題のイベントや注目を集める場所へ赴いて物産PRを行うとともに、当協会ホームページやSNSを活用し、PRの強化を図る。

コンベンション事業については、松山ならではの観光資源や施設等を有効活用してのユニークビューの紹介やターゲットを絞った誘致営業を実施するほか、新たに7都市連携などの広域連携事業を積極的に実施し、キーパーソンの招聘など、都市間競争を勝ち抜くために効果的な情報収集および誘致活動を図る。

また、国際交流事業として、引き続き台湾・台北市との交流を深め、チャーター便を利用した相互送客を図るなど観光経済交流事業を継続するほか、中国・韓国など東アジアを視野に入れた海外からの誘客交流事業に取り組んでいく。

### <（公財）松山観光コンベンション協会定款（抜粋）>

#### （目的）

第3条 この法人は、松山市及び愛媛県が有する文化的、社会的、経済的特性を生かし、国内外の観光客及び国内・国際コンベンションの誘致支援等を行うことにより、松山市の観光・物産振興と松山市及び愛媛県におけるコンベンションの振興を図り、もって国際的な相互理解の増進、地域経済の活性化及び文化の向上に寄与することを目的とする。

#### （事業）

第4条 この法人は、前条の公益目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 観光・物産振興のために行う事業の企画、実施、支援に関すること。
- (2) コンベンション振興のために行う事業の企画、実施、支援に関すること。
- (3) PR商品の販売等に関すること。
- (4) その他この法人の目的達成に必要な事業

# I. 公益目的事業別事業計画

## 1. 観光・物産振興事業（公益目的事業1）

予算総額 122,555 千円

（人件費を除く。以下同じ）

### （1）おいでんか松山観光客誘致促進事業 支出予算 12,617 千円

旅行会社が松山市へ観光客等を送客する団体・個人向けの旅行商品を企画し、新たなパンフレット等を作成して販売促進活動を行う場合、実施要項に基づき、その経費の一部を助成する。また、新たにweb商品を対象とした助成及び団体旅行を対象とした助成を実施する（年間約40件）

### （2）松山マドンナ大使関連事業 支出予算 3,066 千円

公募により選出された松山マドンナ大使の派遣活動等を通じて、松山の観光・物産PRや観光客誘致を行う。

### （3）観光PR事業 支出予算 30,536 千円

新聞、雑誌等の媒体や、イベント等の事業実施を通じて、松山の観光PR・観光客誘致を行う。

#### ① 広告宣伝関連

ア 時刻表、雑誌、新聞等への広告等

イ 愛媛FC及び愛媛マンドリンパイレーツの試合会場への看板掲出

ウ 愛媛マラソン手荷物預かり袋広告制作

#### ② イベント関連

ア 大神輿総練

期 日 平成26年9月下旬（予定）

場 所 松山市城山公園（堀之内）

内 容 本市の特徴ある「松山神輿」を新たな観光資源として、市内の神輿をはじめ、伝統文化の獅子舞、水軍太鼓、野球拳おどり等を創出する場を設け、独自の資源として全国に発信することで観光振興や地域の活性化を図るものである。

#### (4) 観光キャンペーン事業

支出予算 39,172 千円

市内外において、関係機関と連携しながら、イベント等の事業実施を通じて、松山の観光PR・観光客誘致を行う。(具体例：近隣の市や県と共同で実施する観光キャンペーンや国が実施するデジタル・ジャパン・キャンペーンによる海外からの誘客活動や台湾での観光PR事業、ヤクルト球団の協力を得ながら行なう「松山 DAY in 神宮球場」等)

ア. 四国観光立県観光キャンペーン(未定) (協賛事業)

期 日 平成 26 年 (未定)

イ. 瀬戸内連携共同観光キャンペーン (松山市と連携)

期 日 平成 26 年 (未定)

ウ. 松山 DAY in 神宮球場観光キャンペーン

期 日 平成 26 年 (未定)

場 所 神宮球場

内 容 東京ヤクルトスワローズの神宮球場ホームゲーム  
において松山市の観光宣伝等を実施

エ. 松山の観光PR事業 (台湾)

期 日 平成 26 年 11 月 (予定)

場 所 台湾 台北市

内 容 松山の観光PRブースを出展し、松山の文化や観光情報の提供  
等PRを実施

#### (5) 物産と観光展事業

支出予算 9,916 千円

集客力の高い百貨店や交通結節点等において、松山を中心とした物産や観光の企画・運営を行い、松山のPR・観光客誘致を行う。

ア. 松山の物産と観光展 札幌市(さっぽろ東急百貨店)

期 日 平成 27 年 2 月下旬 (予定)

イ. 首都圏等での物産と観光展

内 容 愛媛県および松山市の実施している観光キャンペーン等と  
連携し、物産販売と観光PRを実施する。

#### (6) パンフレット等の作成・頒布事業

支出予算 2,312 千円

観光案内パンフレット等の作成・頒布を通じて、松山の観光PR・観光客誘致を行う。

① 指差観光案内パンフレット (英語、韓国語、繁体字、簡体字)

② 瀬戸のまつやま「海ごはん」MAP

**(7) 案内所運営事業**

支出予算 19,051 千円

松山市内4ヶ所（松山城・道後・JR松山駅・松山観光港）において観光案内所（うち3ヶ所は委託）を設置・運営し、観光地の窓口として本市を訪れる国内外の観光客を温かくお迎えし、安心して快適に松山観光を楽しんでいただく情報提供を行うものである。

**(8) 松山観光ボランティアガイド事業**

支出予算 5,885 千円

松山観光ボランティアガイドの活動を支援することにより、本市を訪れた観光客にガイドがおもてなしの心で、観光施設（松山城・道後温泉周辺・坂の上の雲ミュージアム周辺）をボランティアで案内するものである。

## 2. コンベンション振興事業（公益目的事業2）

予算総額（支出）54,124千円

### （1）誘致促進事業

支出予算 14,217千円

#### ① 誘致セールス

愛媛県内に支部を置く地元主催者や、主に首都圏にある主催者本部等に対して、訪問やキーパーソン招聘を実施し、魅力的な観光資源やコンベンション開催までのシームレスな支援等をPRするなどして誘致セールスを行うとともに、情報収集を行う。

#### ② 第24回国際ミーティング・エキスポ（IME2014）への出展・参加

コンベンション主催者とコンベンション受入側（都市・関係団体）が一堂に会し、コンベンション開催に関する情報や商談を行う、日本で唯一のコンベンショントレードショーであるIME（国際ミーティングエキスポ）に出展・参加し、誘致セールスを行う。

期 日 平成26年12月9日（火）～10日（水）

場 所 東京都（東京国際フォーラム）

#### ③ 誘致懇談会の開催

当協会主催のほか、中国・四国地区のコンベンション推進団体が、合同でコンベンション開催の決定権を有する首都圏の主催者等を招待して懇談会を開催し、誘致セールスや情報交換を行う。

##### ア 中四国地区コンベンション推進協議会事業

総 会 期 日 平成26年6月頃（予定）

場 所 下関市

誘致懇談会 期 日 平成27年2月頃（予定）

場 所 東京都

##### イ 地元誘致懇談会

誘致懇談会 期 日 平成27年3月頃（予定）

場 所 未定

#### ④ 海外からの誘致促進

国の実施するビジット・ジャパン・キャンペーン（VJ事業）と連携しながら、海外からの観光客、インセンティブ旅行者、教育旅行者等の誘致促進を図る。

## (2) 開催支援事業

支出予算 38,622 千円

### ① 開催助成金制度

コンベンション誘致を促進することにより、国際会議観光都市松山の発展に資するため、一定規模以上のコンベンション主催者に対し、交付要綱に基づき、開催経費の一部を助成する。

### ② 歓迎用看板等の掲出

国際会議又は全国規模(参加者 1,000 名以上)のコンベンションを対象に、松山空港ビルに歓迎用看板等を掲出する。

### ③ 支援グッズの作成

コンベンション参加者等への支援のためナイロン製アームバッグを、また、アフターコンベンション用ガイドブックとして「ようおいでなもし」等を作成し提供する。

### ④ サポートスタッフの派遣、育成

コンベンション主催者等の依頼により、会議応援や観光案内等を支援するコンベンションボランティアや松山マドンナ大使等を派遣するほか、郷土芸能の紹介等を行う。

## (3) 調査・研究事業

支出予算 1,285 千円

### ① 経済波及効果調査

コンベンション振興の有益性を周知し、当協会の事業に対する理解と協力を得るため、コンベンション開催による経済波及効果額を算出する。

### ② コンベンション調査

愛媛県内に支部を置く地元主催者等から、主催するコンベンションの内容・予定等を調査して、効果的な誘致・支援につなげるとともに、コンベンションカレンダー等を制作する。また、全国のコンベンション情報収集のために研修会等へ出席する。

### ③ 管理システムの運用(コンベンション誘致のための情報収集及び分析)

主催者への誘致訪問や各種懇談会等により、コンベンション誘致のための情報を収集・分析し管理するとともに、松山市の受け入れ条件を考慮した効果的なコンベンション誘致・支援に取り組む。

## Ⅱ. 収益事業

予算総額（収入） 5,754 千円  
（支出） 1,255 千円

### 1. 広告料収入事業

収入予算 2,340 千円  
支出予算 460 千円

- (1) ロープウェイ駅舎3階壁面広告
- (2) 物産陳列ケース
- (3) ロープウェイゴンドラ内広告
- (4) ホームページバナー広告
- (5) ホームページショッピングサイト

### 2. 手数料収入事業

収入予算 2,100 千円  
支出予算 261 千円

- (1) 案内所での記念グッズ販売による手数料
- (2) 自動販売機での飲料販売による手数料
- (3) 松山城・道後温泉メダル販売による手数料

### 3. 販売収入事業

収入予算 1,314 千円  
支出予算 534 千円

- (1) 名刺台紙販売
- (2) 図書販売
- (3) ハンドタオル販売
- (4) オリジナルグッズ販売

### Ⅲ. その他管理事業等

予算総額 9,762 千円

#### 1. 機関紙「N a m o s h i」作成

年2回作成し、全国のコンベンション推進団体及び賛助会員に配布

#### 2. ホームページ運営

協会ホームページの運営（情報の更新等）

#### 3. 新規会員の確保

収入確保のために、新規会員の獲得に努める

#### 4. 会議開催

各専門委員会の開催を随時行うほか、理事会・評議員会を必要に応じ適宜開催

#### 5. 共催・協賛事業

(1) 第11回伊予節全国大会（協賛事業）

期 日 平成26年4月5日(土)

主 催 伊予節全国大会実行委員会

(2) 第12回JABA子規記念杯野球大会(協賛事業)

期 日 平成26年4月26日(土)・27日(日)

主 催 愛媛県野球連盟



(3) 第64回松山港まつり (協賛事業)

期 日 平成26年8月3日(日)(予定)

主 催 松山港まつり振興会

(4) 第49回松山まつり (協賛事業)

期 日 平成26年8月8日(金)~10日(日)

主 催 松山まつり実行委員会

(5) いもたき事業 (共催事業)

場 所 出合橋下河川敷

期 日 平成26年9月6日(土)~10月13日(月)(予定)

主 催 観光松山いも炊き会・(公財)松山観光コンベンション協会

(6) 愛媛調理製菓専門学校「料理作品展」(協賛事業)

期 日 平成27年2月頃

主 催 学校法人愛媛学園

(7) 坊っちゃんカップ第8回道後温泉卓球大会 (共催事業)

期 日 平成27年2月(予定)

主 催 (公財)松山市文化・スポーツ振興財団

収支予算書(正味財産増減計算ベース)内訳表

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計			法人会計	内部取引 控除	合計
	公1 (観光・物産)	公2 (コンベンション)	共通	小計	収1(販売等)	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
基本財産運用益	0	0	1,230,000	1,230,000	0	0	0	0	0	1,230,000
基本財産利息収入			1,230,000	1,230,000			0			1,230,000
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産受取利息				0			0			0
受取会費	0	0	12,700,000	12,700,000	0	0	0	0	0	12,700,000
賛助会員会費収入			12,700,000	12,700,000			0			12,700,000
事業収益	3,560,000	50,000	0	3,610,000	5,754,000	0	5,754,000	0	0	9,364,000
広告料収入				0	2,340,000		2,340,000			2,340,000
手数料収入				0	2,100,000		2,100,000			2,100,000
販売収入		50,000		50,000	1,314,000		1,314,000			1,364,000
観光PR事業収入	1,200,000			1,200,000			0			1,200,000
物産と観光展手数料収入	2,360,000			2,360,000			0			2,360,000
受取補助金等	108,418,000	54,074,000	0	162,492,000	0	0	0	35,142,000	0	197,634,000
市補助金等収入	108,418,000	54,074,000		162,492,000			0	35,142,000		197,634,000
受取負担金	0	0	1,000,000	1,000,000	0	0	0	0	0	1,000,000
負担金収入			1,000,000	1,000,000			0			1,000,000
雑収益	0	0	15,000	15,000	0	0	0	228,000	0	243,000
受取利息			15,000	15,000			0			15,000
雇用保険料預り金				0			0	228,000		228,000
<b>経常収益計</b>	<b>111,978,000</b>	<b>54,124,000</b>	<b>14,945,000</b>	<b>181,047,000</b>	<b>5,754,000</b>	<b>0</b>	<b>5,754,000</b>	<b>35,370,000</b>	<b>0</b>	<b>222,171,000</b>
(2) 経常費用										
事業費	140,869,628	67,389,883	4,902,648	213,162,159	4,482,693	0	4,482,693		0	217,644,852
報酬	0	0	666,648	666,648	0	0	0			666,648
給料手当	12,109,000	10,199,000	2,047,000	24,355,000	0	0	0			24,355,000
退職給付費用	803,915	460,883	0	1,264,798	0	0	0			1,264,798
福利厚生費	3,443,285	2,606,000	2,189,000	8,238,285	409,715	0	409,715			8,648,000
臨時雇賃金	1,871,428	0	0	1,871,428	2,891,572	0	2,891,572			4,763,000
会議費	2,703,000	2,218,000	0	4,921,000	0	0	0			4,921,000
旅費交通費	15,029,000	8,204,000	0	23,233,000	0	0	0			23,233,000
通信運搬費	8,718,000	534,000	0	9,252,000	0	0	0			9,252,000
什器備品減価償却費	0	0	0	0	13,406	0	13,406			13,406
消耗品費	10,737,000	2,565,000	0	13,302,000	386,000	0	386,000			13,688,000
印刷製本費	6,359,000	4,246,000	0	10,605,000	195,000	0	195,000			10,800,000
諸謝金	11,240,000	1,660,000	0	12,900,000	0	0	0			12,900,000
報償費	600,000	0	0	600,000	0	0	0			600,000
委託費	32,060,000	967,000	0	33,027,000	0	0	0			33,027,000
負担金支出	400,000	1,722,000	0	2,122,000	0	0	0			2,122,000
広告宣伝費	13,789,000	0	0	13,789,000	0	0	0			13,789,000
賃借料	6,594,000	80,000	0	6,674,000	473,000	0	473,000			7,147,000
修繕費	490,000	0	0	490,000	0	0	0			490,000
保険料	982,000	23,000	0	1,005,000	0	0	0			1,005,000
燃料費	0	0	0	0	0	0	0			0
光熱水料費	0	0	0	0	114,000	0	114,000			114,000
助成金支出	12,617,000	31,800,000	0	44,417,000	0	0	0			44,417,000
調査研究費	0	0	0	0	0	0	0			0
雑費	324,000	105,000	0	429,000	0	0	0			429,000

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計			法人会計	内部取引 控除	合計
	公1 (観光・物産)	公2 (コンベンション)	共通	小計	収1(販売等)	共通	小計			
管理費								34,205,736	0	34,205,736
役員報酬								4,661,352		4,661,352
給料手当								14,056,000		14,056,000
福利厚生費								3,825,000		3,825,000
臨時雇賃金								0		0
退職給付費用								1,901,384		1,901,384
会議費								618,000		618,000
旅費交通費								85,000		85,000
交際費								52,000		52,000
通信運搬費								2,050,000		2,050,000
消耗品費								1,786,000		1,786,000
印刷製本費								515,000		515,000
諸謝金								312,000		312,000
委託費								670,000		670,000
負担金支出								611,000		611,000
賃借料								1,714,000		1,714,000
修繕費								70,000		70,000
保険料								85,000		85,000
燃料費								161,000		161,000
光熱水料費								600,000		600,000
租税公課								430,000		430,000
減価償却費								0		0
有価証券運用損								0		0
雑費(予備費含まない)								3,000		3,000
<b>経常費用計</b>	<b>140,869,628</b>	<b>67,389,883</b>	<b>4,902,648</b>	<b>213,162,159</b>	<b>4,482,693</b>	<b>0</b>	<b>4,482,693</b>	<b>34,205,736</b>	<b>0</b>	<b>251,850,588</b>
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 28,891,628	△ 13,265,883	10,042,352	△ 32,115,159	1,271,307	0	1,271,307	1,164,264	0	△ 29,679,588
基本財産評価損益等				0			0			0
特定資産評価損益等				0			0			0
投資有価証券評価損益等				0			0			0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 28,891,628	△ 13,265,883	10,042,352	△ 32,115,159	1,271,307	0	1,271,307	1,164,264	0	△ 29,679,588
2. 経常外増減の部								0		
(1) 経常外収益								0		
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								0		
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額			283,397	283,397		△ 283,397	△ 283,397			0
当期一般正味財産増減額	△ 28,891,628	△ 13,265,883	10,325,749	△ 31,831,762	1,271,307	△ 283,397	987,910	1,164,264	0	△ 29,679,588
一般正味財産期首残高	△ 19,709,049	△ 17,817,906	556,824,866	519,297,911	3,033,051	△ 268,939	2,764,112	2,950,472		525,012,495
一般正味財産期末残高	△ 48,600,677	△ 31,083,789	567,150,615	487,466,149	4,304,358	△ 552,336	3,752,022	4,114,736	0	495,332,907
II 指定正味財産増減の部								0		
受取補助金等				0			0			0
一般正味財産への振替額				0			0			0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高				0			0			0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	△ 48,600,677	△ 31,083,789	567,150,615	487,466,149	4,304,358	△ 552,336	3,752,022	4,114,736	0	495,332,907

## 収支予算書(正味財産増減計算ベース)

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,230,000	1,290,000	△ 60,000
基本財産利息収入	1,230,000	1,290,000	△ 60,000
特定資産運用益	0	0	0
特定資産受取利息	0	0	0
受取会費	12,700,000	13,000,000	△ 300,000
賛助会員会費収入	12,700,000	13,000,000	△ 300,000
事業収益	9,364,000	9,224,000	140,000
広告料収入	2,340,000	2,340,000	0
手数料収入	2,100,000	1,740,000	360,000
販売収入	1,364,000	1,393,000	△ 29,000
観光PR事業収入	1,200,000	691,000	509,000
物産と観光展手数料収入	2,360,000	3,060,000	△ 700,000
受取補助金等	197,634,000	165,220,000	32,414,000
市補助金等収入	197,634,000	165,220,000	32,414,000
受取負担金	1,000,000	1,000,000	0
負担金収入	1,000,000	1,000,000	0
雑収益	243,000	243,000	0
受取利息	15,000	15,000	0
雇用保険料預り金	228,000	228,000	0
<b>経常収益計</b>	<b>222,171,000</b>	<b>189,977,000</b>	<b>32,194,000</b>
(2) 経常費用			0
事業費	217,644,852	186,462,948	31,181,904
報酬	666,648	610,107	56,541
給料手当	24,355,000	25,974,000	△ 1,619,000
退職給付費用	1,264,798	1,275,966	△ 11,168
福利厚生費	8,648,000	9,546,000	△ 898,000
臨時雇賃金	4,763,000	4,276,000	487,000
会議費	4,921,000	4,779,000	142,000
旅費交通費	23,233,000	20,689,000	2,544,000
通信運搬費	9,252,000	11,600,000	△ 2,348,000
什器備品減価償却費	13,406	17,875	△ 4,469
消耗品費	13,688,000	11,533,000	2,155,000
印刷製本費	10,800,000	7,446,000	3,354,000
諸謝金	12,900,000	10,087,000	2,813,000
報償費	600,000	600,000	0
委託費	33,027,000	25,914,000	7,113,000
負担金支出	2,122,000	2,802,000	△ 680,000
広告宣伝費	13,789,000	8,754,000	5,035,000
賃借料	7,147,000	10,196,000	△ 3,049,000
修繕費	490,000	440,000	50,000
保険料	1,005,000	743,000	262,000
燃料費	0	0	0
光熱水料費	114,000	76,000	38,000
助成金支出	44,417,000	28,564,000	15,853,000
調査研究費	0	0	0
雑費	429,000	540,000	△ 111,000

科 目	当年度	前年度	増減
管理費	34,205,736	30,929,968	3,275,768
役員報酬	4,661,352	3,716,893	944,459
給料手当	14,056,000	13,287,000	769,000
福利厚生費	3,825,000	3,850,000	△ 25,000
臨時雇賃金	0	0	0
退職給付費用	1,901,384	1,622,075	279,309
会議費	618,000	804,000	△ 186,000
旅費交通費	85,000	64,000	21,000
交際費	52,000	51,000	1,000
通信運搬費	2,050,000	2,077,000	△ 27,000
消耗品費	1,786,000	1,645,000	141,000
印刷製本費	515,000	525,000	△ 10,000
諸謝金	312,000	0	312,000
委託費	670,000	652,000	18,000
負担金支出	611,000	589,000	22,000
賃借料	1,714,000	943,000	771,000
修繕費	70,000	70,000	0
保険料	85,000	61,000	24,000
燃料費	161,000	90,000	71,000
光熱水料費	600,000	600,000	0
租税公課	430,000	280,000	150,000
減価償却費	0	0	0
有価証券運用損	0	0	0
雑費(予備費含まない)	3,000	3,000	0
<b>経常費用計</b>	<b>251,850,588</b>	<b>217,392,916</b>	<b>34,457,672</b>
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 29,679,588	△ 27,415,916	△ 2,263,672
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 29,679,588	△ 27,415,916	△ 2,263,672
2. 経常外増減の部			0
(1) 経常外収益			0
中科目別記載	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			0
退職給付費用			0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 29,679,588	△ 27,415,916	△ 2,263,672
一般正味財産期首残高	525,012,495	532,650,331	△ 7,637,836
一般正味財産期末残高	495,332,907	505,234,415	△ 9,901,508
II 指定正味財産増減の部			0
受取補助金等	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	495,332,907	505,234,415	△ 9,901,508